

## 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

高知県

行 事 名 称	第64回文化財防火デー
実施期間・日時	平成30年1月26日（金） 9：15～9：45
実 施 場 所	梶本神社 （重要文化財 八角形漆神輿 保管）
主 催 者	梶本神社、仁淀消防組合消防署、いの町教育委員会

## ■実施内容

## 訓練の想定

神社本殿西側、裏山と隣接する場所から失火により出火。神社職員が火災を発見し、初期消火を行いながら119番に通報。

## 訓練の内容

出火を発見した神社職員が119番に通報。消防車が来るまでの間、神社の池からバケツリレーで消火活動を行う。消防車による山側への放水。消火器の取扱い訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

梶本神社職員)	7名：119番通報、バケツリレー
いの町消防団伊野分団	8名：放水訓練
仁淀消防組合消防署	5名：全体統括、放水訓練、講評
いの町総務課防災担当	1名：現場立ち合い
いの町教育委員会	1名：現場立ち合い、講評

## 特に工夫した点

境内が広く本殿拝殿・社務所・宝物庫等の建物も多数あり初期消火と通報が重要なため、通報の仕方や日常のバケツの配置場所の確認など、効率的に対応するための確認を行った。

## 問題点・課題

初期消火として、毎回訓練で行っているバケツリレーや消火器による消火に加えて、境内の放水銃も有効な手段であるとして、使用方法について消防署より指導を受けた。放水銃のホース部分が朽化しているため、交換が必要であることを確認した。

## その他

1年ごとに交互に梶本神社と八代の舞台の防火訓練を行っている。平成27年度は梶本神社で実施予定であったが、当日、伊野地区内で火災が発生し、訓練が中止となったため、今回は2年ぶりの訓練となった。

## 訓練風景



バケツリレー



放水訓練



消火器の訓練